

## 川崎

50号特集 ■ 各地域協議会のあゆみ

## 川崎市協議会50年のあゆみ

## 1 川崎市協議会のあゆみ

川崎市青少年指導員制度は、昭和39年7月に発足し、今年で50年になります。地域社会で青少年の健全な育成活動を積極的に推進するため町内会・自治会等地域の自治組織、子ども会などの青少年団体、青少年関係機関、さらにはスポーツ推進委員、民生委員児童委員など地域の青少年指導者と連携をとりながら、地域ぐるみで青少年を育成するための推進役として制度化されました。

## 2 活動内容について

本市協議会は、地域における青少年育成の中心的な存在である青少年指導員の資質の向上と、今後の実践的な活動に役立てるため、年1回研修会を開催しています。2年任期の1年目は青少年指導員の理論体系を学ぶ講演会、2年目は子ども達とのコミュニケーションを円滑に図るための技術の習得を目的とした講習会を行っています。今年度は技術講習会として、1月19日に「伝承折り紙講習会」を実施しました。過去には、「カローリング講習会」や「バルーンアート講習会」を実施し、スキルアップを図りました。



伝承折り紙講習会



カローリング講習会



バルーンアート講習会

## 3 石橋会長から

私たちが、日頃行っている活動は目に付きにくい部分もありますが、誰かが行わなければならないものです。結果は出にくくても地道に活動を続け、真正面から青少年問題に取り組んでいく姿勢こそが大切だと考えています。

今年は青少年指導員制度発足50周年という大きな節目の年にあたり、青少年指導員自らが決意を新たにするとともに、地域からは引き続き地域活動推進の核となることが期待されておりますので、今後とも青少年の育成活動を推進するために御協力お願いいたします。

## 4 先輩指導員から(本市協議会前会長・前神奈川県青少年指導員連絡協議会会長 東田乗治氏)

## (1) 苦労した点

私が担当したばかりの時期は、中学生の校内暴力やいじめ、他校間トラブルなど問題行動が見受けられ、中学校区地域教育会議を通し、中学校、PTA、指導員との情報交換の環境を整えることに腐心したが、生徒の情報を共有することで、青少年の健全育成と非行防止活動の連携を図り、地域パトロールに活かす事ができました。

## (2) 今後の指導員に望むこと

県下の指導員による育成活動は地域に浸透し、着実に成果を上げていますが、昨今、青少年を取り巻く環境が急変し、スマホやネット犯罪による事例を踏まえて、警察、学校、保護者との連携の強化、更に県内各地域の指導員が情報を共有することにより、青少年の被害防止活動に対する更なるスキルアップを期待します。